

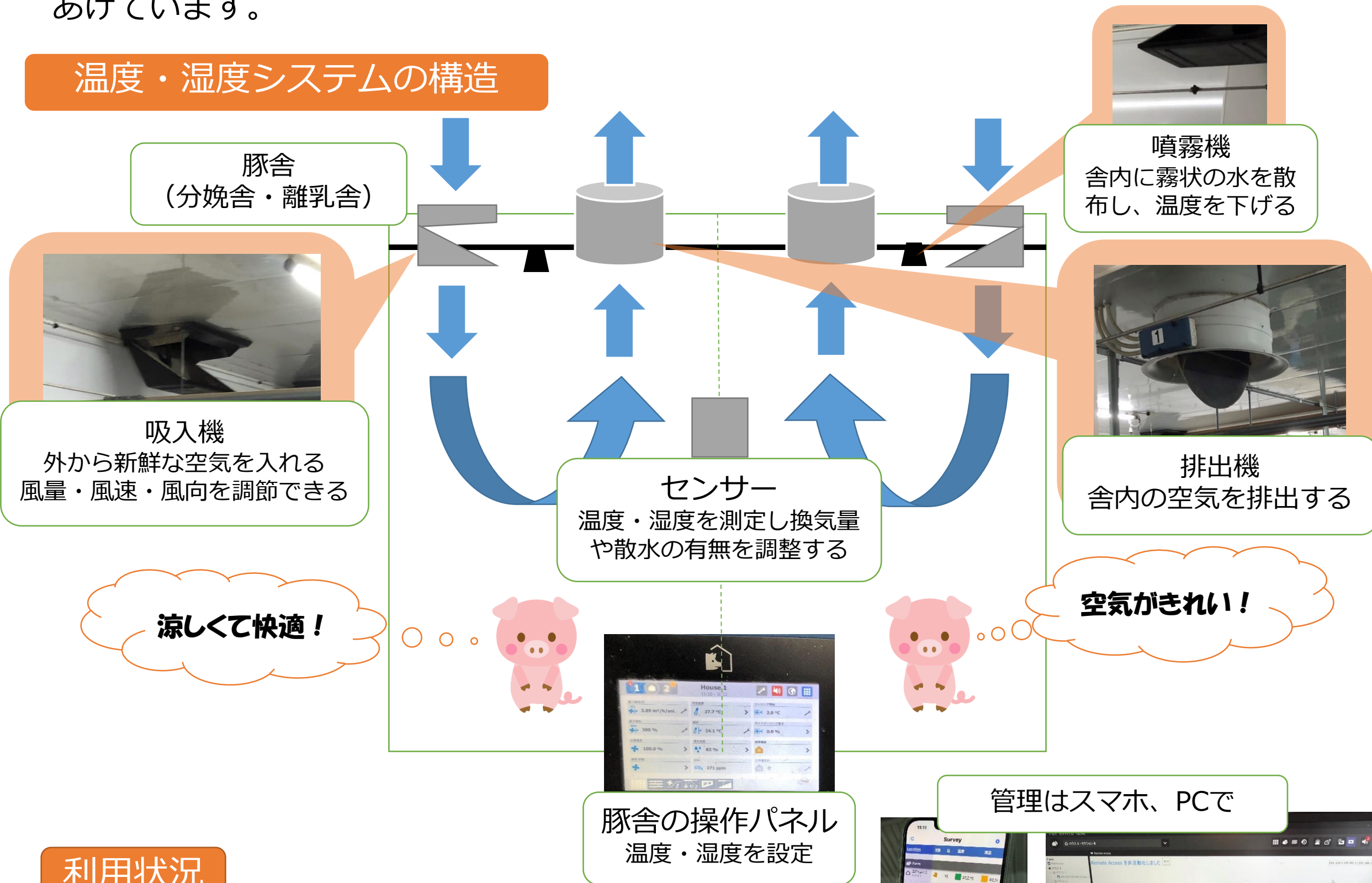
# ウインドレス豚舎の温度・湿度管理システムを紹介します

肉豚情報 令和4年8月 県北農林事務所 (0294-87-6680)

豚は熱に弱く、熱ストレスは畜産物の生産性の低下を引き起こします。また、多湿は家畜の体表面からの熱放散を妨げ、結果的に熱ストレスを招きます。

母豚約600頭の一貫経営である管内養豚場では、熱ストレスの低減と省力化、及び防疫対策のため、ウインドレス豚舎の温度と湿度を自動管理するシステムを導入し効果をあげています。

## 温度・湿度システムの構造



## 利用状況

- 分娩舎及び離乳舎に導入。
- プログラムにより豚舎内を適当な温度・湿度に調整。
- 高温時はミストを自動で噴霧し、気化熱により豚舎の温度を下げる。
- システムの管理は主にスマホとPCで行う。
- 異常があった場合は、スマホに通知される。

## 導入後の感想

- 豚の暑熱ストレスが低減され、子豚の圧死などの事故が減少した。
- 導入前に比べて、肥育開始時点の体重が4～5kg程度増大したことで、出荷日齢が約3週間早まった。
- 出荷日齢が早まったことで、空舎期間を確保できるようになった。また、空舎期間に清掃・消毒を行うことにより、豚の飼養衛生環境が改善された。
- 豚舎の環境をいつでも手元で管理できるので、省力化された。
- ウインドウレスの環境を整えられたことで、野生動物の侵入を防ぐことができ、豚熱などの家畜伝染病の防疫体制が強化された。
- 当システムは冷房ではないので、導入前後でランニングコストに大きな変化はなかった。